

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 公共交通による移動手段の確保

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市内の移動に困っている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	11.8	11.8	10.8	10	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、1.0ポイント減少した。これは、前年10月に利用状況に即したダイヤ改正を行ったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅前広場の整備率（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	75	75	☁ (横ばい)
評価	前年度の実績値に比べ、成果指標の変動はない。これは、三郷駅前広場の整備に向け、地元協議会及び準備組合とともに検討を進めているが、まだ整備着手に至っていないことが要因であると考えられる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅・駅周辺施設の利用者満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	71.1	71.1	72.4	75	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、1.3ポイント増加した。これは、三郷駅前広場や印場駅のバリアフリー化は進んでいないが、尾張旭駅前での駐車場整備などが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅のバリアフリー化率（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	75	100	☁ (横ばい)
評価	前年度の実績値に比べ、成果指標の変動はない。これは、印場駅のバリアフリー化については、前年度、地域の意見を聞く場を設け検討に着手したところであり、まだ整備着手に至っていないことが要因と考えられる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (中)

基本事業03 幹線道路整備の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	自動車での幹線道路利用による満足度(%)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	73.4	73.4	78.8	85	☀ (向上)
評価	前年度の実績に比べ、5.4ポイント増加した。これは、H31.3月に霞ヶ丘線の供用が開始したこと、6月に実施された植樹祭に合わせて幹線道路補修が行われたことが要因と考えられる。一方で、霞ヶ丘線と接続する山の手通線(名古屋市施工分)が未施工であるため、市西部地域の交通混雑の緩和、アクセス改善には至っていない。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☐ (高)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	歩道のバリアフリー化実施箇所数(箇所)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	355	355	361	390	☀ (向上)
評価	歩道スロープ改良工事実施累積箇所数が、前年度の実績値に比べ、現状値が6ポイント増加した。一方で、年間の実施箇所数は前年度の26箇所から大幅に減少した。これは、前年度に比べ、施工内容の違いにより、1箇所あたりの施工単価が増額したためと考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☐ (高)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	市民により生活道路等が維持管理されている箇所数(箇所)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	13	13	15	19	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が2ポイント上昇した。これは道路の美化等に取り組もうとする団体に、アダプトプログラムへの参加を積極的に呼びかけたことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☐ (高)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	道路管理の瑕疵により損害賠償の対象となった件数(件)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	0	0	1	0	☔ (低下)
評価	前年度の基準値、目標値と比べ、現状値が1ポイント下回った。これは、道路損傷の状況把握が万全ではなかったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						☐ (高)